



くらしこども園
令和8年8月1日

本格的な夏がやってきました。たくさん汗をかくと体力を消耗します。食欲も落ちやすい季節なので、たくさん食べてしっかりと休息をとみましょう。

園での外遊び、水遊び(プライバシー保護等について)の対策を記載しておりますので、ご不明な点がございましたらいつでもお声がけください。

今後も子ども達が安心・安全に夏を乗り越えられるよう、職員一同しっかり配慮して参りたいと思います。ご協力のほど宜しくお願い致します。



水遊びに関する暑さ対策・プライバシー保護対策

- ・ご自宅で朝の検温とお子様の体調を見て、水遊びチェック表に○・×の記入をお願いします。(記入のない場合、水遊びを控えさせていただきます。)
- ・園でも登園後検温し、体調チェックをして水遊びが可能か判断させていただきます。(○の記入があっても園で体調不良が確認された場合、水遊びは控えさせていただきます。)
- ・3歳未満児クラスの水遊びは10時前後を中心に短時間で行います。
- ・水遊び前後には、十分な水分補給を行い、体調の変化をよく観察します。



～プライバシー保護の取り組み～

- ・お子様の肌の日焼け対策とプライバシー保護の観点から、水遊び中はTシャツや肌着、ラッシュガードの着用をしています。ご理解の程よろしくお願い致します。



●感染症の様子●

7月に手足口病の発症がありました。(全国的に流行中です)

気をつけたい 夏風邪



咽頭結膜炎(プール熱)

喉と目に炎症が起こり、高い熱が出ます。うつりやすいため、家族みんなでこまめに手を洗い、タオルなどを共有するのはやめましょう。



ヘルパンギーナ

突然高い熱が出て、数日続きます。口の中に水膨れが出来、2～3日ほどで破れて潰瘍になります。原因となるウイルスが複数あるため、繰り返しかかることがあります。



手足口病

最初に口の中にポツポツができ、痛みのため飲んだり、食べたりするのを嫌がります。

手の平、足の裏に赤っぽい水膨れが出来て痛みます。

原因となるウイルスが複数あるため、繰り返しかかることがあります。



夏の肌トラブルに注意しましょう

虫刺され以外にも「あせも」「とびひ」「水いぼ」など夏におきやすいトラブルがあります。お風呂に毎日入り、皮膚を清潔に保ちましょう。皮膚を傷つけないよう、爪も短く切りましょう。とびひは悪化しやすいので、早めに皮膚科の受診をお勧めします。



夏の戸外遊びについて

気温、湿度、熱中症指数(WBGT)を毎日確認し、安全が確保できると判断した場合のみ外遊びを実施します。また、なるべく早い時間帯に行い、長時間にならないようにします。外に出るときは、直射日光を避けた日陰などで活動し十分な水分補給を行い体調の変化を観察します。

汗をかいたあとは、着替えをし、タオルで汗を拭き清潔を保つようにしますので汗拭きタオルや着替えの補充をお願いします。

お子さんの体調や表情がすぐれない場合は、園側の判断で外遊びを控える場合もあります。

自宅療養では…

水分補給をしっかり

暑さや熱で水分が失われると、口の中やのどに痛みがでやすく、食べるのを嫌がります。アイスクリームやゼリーなどの口当たり、のどごしがよいものを少しずつ取らせたり、脱水にならないように水分だけは飲ませるようにしましょう。



回復するまで

夏風邪は、どれも特效薬がありません。休むことが一番の薬です。しっかり休んで回復させる方が、ぶり返しにくく、長引きません。



6月の歯科健診の結果

全園児47人中4名に虫歯が見られました。

虫歯があった子は早めに治療しましょう。また、小さいうちは保護者の方の仕上げ磨きも大切です。

しっかりと丁寧な歯磨きを心がけ、歯を清潔に保てるといいですね。

